

# 選定手順

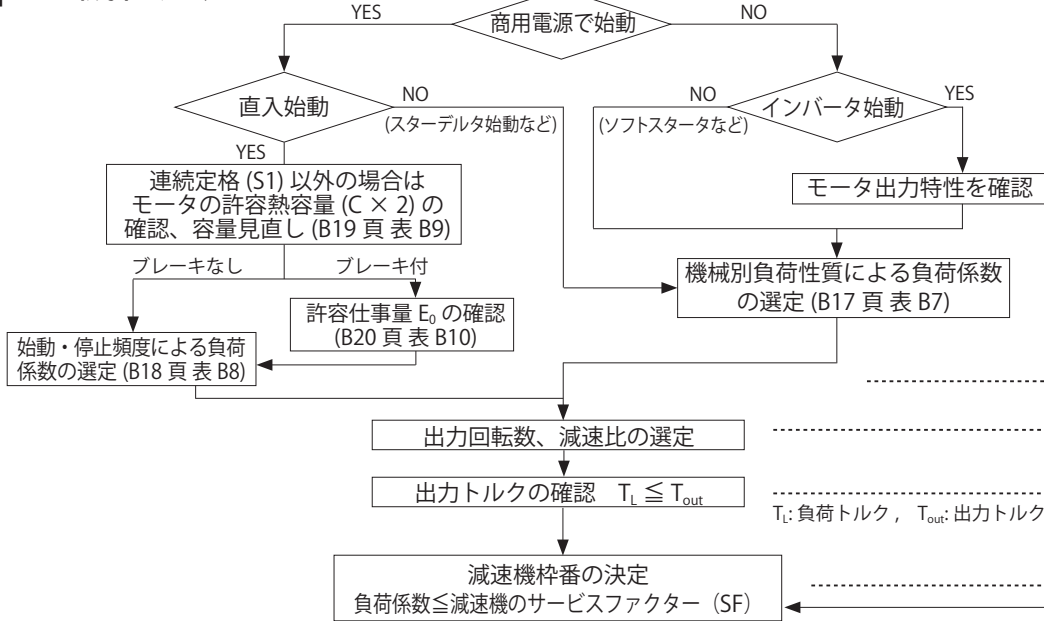
次のフローチャートを参考に、機種選定を実施して下さい。選定方法について分からない場合は、ご照会ください。

## Step1: 使用条件の決定

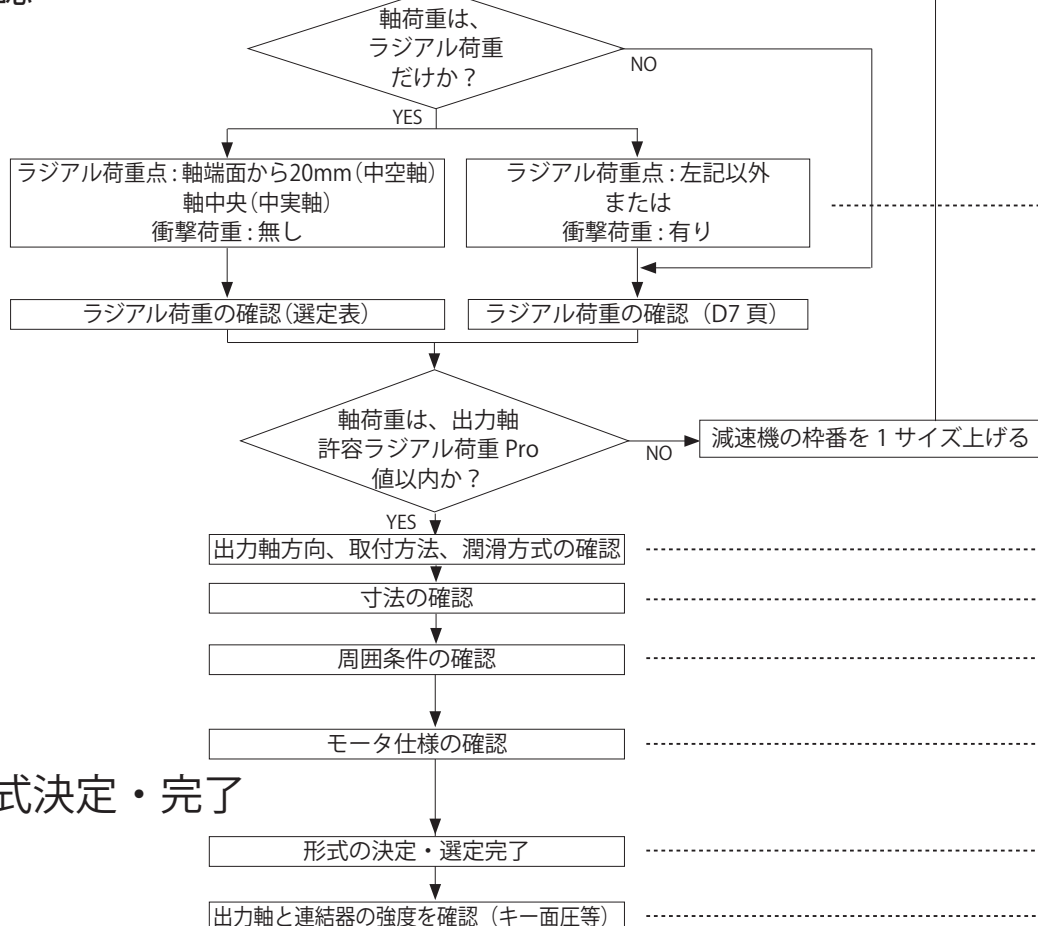
選定を始める前に、次の条件を決定して下さい。

- ・用途
- ・連続運転か、または起動・停止が頻繁に行われる運転か
- ・電源は直入れか、スターデルタ始動やインバータ駆動か
- ・モータ容量 (kW)、及び出力回転数または減速比
- ・ラジアル荷重
- ・1日あたりの運転時間
- ・衝撃荷重の度合い
- ・取付方向 (出力軸方向)、取合形状
- ・モータに関する仕様 (電源周波数、電圧、ブレーキの有無など)
- ・その他周囲の条件 (温度、湿度、屋内・屋外、その他環境など)

## Step2: 機種選定



## Step3: 確認



## Step4: 形式決定・完了

用語の説明

- ・サービスファクター (SF)  
減速機の許容入力容量をモータ容量で割った値。
- ・使用環境パッケージ  
環境 3 要素 (水・腐食・粉塵) を防ぐレベルを選ぶだけで、仕様が決まるようパッケージ化したもの (B5 頁参照)。

手順の説明

- ・ B17 頁より、用途に合った負荷係数を選定してください。
- ・ 始動・停止を繰り返す運転の場合は、B18 頁の始動・停止頻度と減速機の負荷係数、B19 頁のモータの許容熱容量を確認してください。また、ブレーキ付の場合は、B20 頁で制動仕事量が許容仕事量  $E_0$  以下であることをご確認ください。
- ・ D36 頁でブレーキトルクを確認してください。
- ・ B22 頁からの選定表で、お使いのモータ容量が記載されている頁を開いてください。
- ・ 選定表より、ご使用の出力回転数または減速比に近い値が記載されている欄を選んでください。
- ・ 出力トルクが、お客様の使用値を満たしているかどうか、確認ください。出力トルクが足りない場合は、モータ容量を 1 クラス上げてください。
- ・ 選定した負荷係数よりも大きいサービスファクター (SF) を持つ組合せを、選定表から選んでください。
- ・ 減速機の出力軸にかかる荷重は、ラジアル荷重だけかどうか、確認ください。スラスト荷重もかかる場合は、ご照会ください。
- ・ ラジアル荷重が出力軸のどの部分にかかっているか、また衝撃荷重の有無によって、技術資料 D7 頁の係数を参照し、換算してください。  
※ 1. 選定表の出力軸許容ラジアル荷重は、荷重位置が軸端面から 20mm (中空軸)、軸中央 (中実軸) の場合の値です。  
※ 2. チェーン、V ベルト、歯付ベルト等で初期張力を与える場合には、ラジアル荷重にこれらの影響を含めて算出してください。
- ・ 計算したラジアル荷重が、出力軸許容ラジアル荷重を超えていないか、確認してください。
- ・ 選定した組合せが、お使いの出力軸方向、取付方法、潤滑方式に対応できているか、確認してください。
- ・ 寸法を確認してください。お客様のご使用の条件に合わない場合は、ご照会ください。
- ・ 選定した組合せが、周辺の環境などの条件に合っているか、B2、B3 頁の「標準仕様」で確認ください。また B5 頁の「使用環境パッケージ」を指定してください。
- ・ 選定した機種に直結されるモータが、お使いの条件 (電源、環境、耐熱クラス等) に合っているか、確認ください。
- ・ 選定した機種について、B4 頁の「形式」をご参照の上、形式を決定してください。以上で機種選定は完了です。
- ・ 起動・停止時の最大トルクで確認してください。